

会員数 58名 出席者47名 欠席者9名 免除会員5名
欠席者 有家・麻田・和泉享・松山・中野昌・大山・飯間・夏見・大西和・会員

前々回出席率 84.2% (7/29)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会長 谷本 順三
幹事 石合 由明
会報委員長 藤井 紀子

お知らせ

- 10月のプログラム
7 (No.1)-会員卓話
14 (No.2)-ガバナー補佐公式訪問
21 (No.3)-米山奨学生卓話
28 (No.4)-ガバナー公式訪問

他RC例会変更

- ニコニコBOX;
祝誕生日
天野君 塩田君
なんとなく
齋賀君
本日からプログラム再開です。
ご協力お願いします。
吉田君
東原様、卓話ありがとうございます
谷本君
久しぶりに皆様にお会いできて
秋山憲夫君

<ニコニコ会計累積/ ¥76,000>

- がんばるBOX;
コロナも落ち着いてきました。
運営頑張ります
大西信亮君

<がんばる会計累積/ ¥30,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F

■会長挨拶

皆さん今日は、本当に久しぶりの例会となりました。7月29日の例会以降、香川県にまん延防止措置が発出され、措置の延長により8月、9月の例会はすべて休会となりました。10月に入っては新規感染者数も一けた台に落ち着き、感染者数がゼロの日もあります。やっと例会が開催できる状況となりましたが、会場の感染対策も皆さんがお気付きのように、入り口での体温測定、着席場所のアクリル板設置等により処置しております。なお、今月はまだ慎重に例会を行い、お弁当は持ちかえりの短縮例会とさせていただきます。皆様方も通常の例会開催を期待されていると思いますが、今少し御辛抱をお願い致します。但し、今月10月14日のガバナー補佐をお迎えしての例会に関しては、通常例会とクラブアセンブリを計画し、10月28日の東ガバナー来訪時はこれまでと同様の例会と致します。この2つの例会については昼食も黙食で行い、感染対策に万全を期して例会を開催したいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

コロナの話題ばかりで申し訳ありませんが、今年度の当クラブの大事な活動としてガバナー輩出年度の準備を進めなければなりません。ガバナー輩出については夏見会員が2670地区の指名委員会において(2024-2025年度ガバナー)ガバナー・ミニ・デジグネートに指名されました。正式な決定は今年度の地区大会で発表されます。これを受けて当クラブの地区幹事会(仮称)も立ち上げました。地区幹事会の代表幹事についてはガバナー候補である夏見会員の御指名によって、横田会員が代表幹事を務める事になりました。今後、地区幹事会の活動計画や活動の報告は横田代表幹事より報告いただきます。すでに夏見ガバナー候補と代表幹事の横田様はすでに活動を開始されました。以上例会以外の活動は着実に進めています。今後、皆さま方のご協力を得てより着実に準備を進めてまいりますのでご協力宜しくお願いいたします。

■例会事業;百十四銀行 丸亀支店 東原隆啓会員

まず自身の経歴ですが、1988年に入行し、2005年に丸亀支店にも配属されております。法人営業担当として企業へのコンサルティング業務等を行っていましたが、2015年に営業統括部の地域活性化室の初代室長に抜擢されました。銀行が人口減少という課題に取り組むための部署です。婚活デスクの設置や観光振興、農業振興にも力を入れたことで、一般の方々の銀行に対するイメージとかけ離れた業務を行っていることから、日経新聞等、マスコミにも取り上げられております。

以下、当行の地域活性化に向けた5つの取り組みについてお話をしたいと思います。

地方創生デスク
結婚新生活支援事業(婚活デスク)では新婚世帯の住宅取得費用を一部補助。ライフプランセミナーの共同開催も行っています。
香川県民の金融リテラシー向上に向け、学校や企業での研修、ライフステージや各世代のニーズに応じた情報や学習機会の提供を行っています。
地域のプロモーション支援を行っています。まんのう町の地域資源である「まんのうひまわり」のブランディングは、ネットドラマ「まんのう町のひまわりちゃん」を制作。「ひまわりオイル」の新商品を企画・商品化しています。
国土交通省の「PPP/PFI地域プラットフォーム協定」の認定を取得。香川県内における官民連携の強化を進めています。

(裏へ続く)



2021.10.7
Vol.59
No4
(2840)

創業支援デスク

香川県・各市町の創業支援計画に基づき、行政やほかの機関と連携して創業セミナーを開催しています。

地域の創業機運を盛り上げるイベント「ビジネスプランコンテスト」の開催や運営に協力しています。

認定支援機関として、各事業者の補助金活用をサポートしています。

観光振興デスク

当行と香川県の女性職員が地域活性化への貢献を目的に集結し、「瀬戸内モニターガールズ」を設置。香川県の産業観光にスポットを当てたモニターリング研修会を通じて、新たな魅力を発見し、幅広く情報を発信しています。四国水族館と㈱ミカサのコラボにより、イルカ専用ボールの開発が当行の紹介マッチングにより完成。マスコミから多くの取材を受けています。

四国アライアンスの四行(百十四、阿波、伊予、四国)が共同で地域商社「Shikokuブランド株式会社」を設立。ブランディング事業や販路開拓事業を行っています。特産品20件のブランド化が成立しています。

観光事業の活性化のため、瀬戸内地域の自治体、当行をはじめとした金融機関、日本政策投資銀行、地域内外の事業会社で「株式会社せとうちDMO」を設立。地域の観光関連事業者に対する経営支援・事業支援を行っています。事例として四国水族館の開発支援や空き家古民家を活用した商業施設、STU48の活動に対する支援などがあります。

アグリサポートデスク

農産品の六次化支援やオンライン商談会を開催しています。

新型コロナ対応

地元の飲食業の応援企画として、丸亀市においてドライブスルーのテイクアウトイベントに協力しました。1時間で400食を完売しました。

「KAGAWA Go To Eatキャンペーン」の換金・引き換え業務を受託しています。地元の企業を消費で応援する「KAGAWAわっしょいキャンペーン！！」を実施しました。

以上です。これからも香川県の課題解決にまい進してまいります。
ご清聴ありがとうございました。